

駐車場で自動車盗難対策機器を貸出 ～キックオフイベント「ふれて、つかって、実感して」～

愛知県自動車盗難等防止協議会(会長：小林 剛・NTP 名古屋トヨペット株式会社代表取締役社長)では、愛知県警察本部および名古屋駐車協会協力のもと、2023年10月から名古屋市内の一部駐車場において、利用者に無料でハンドルロックを貸出す取組みを開始しました。本取組では、愛知県の自動車盗難認知件数の減少のため、自動車盗難対策機器の有用性を体験してもらい、自主防犯対策を促すことを目的としています。

また、取組開始にあたり、10月3日(火)にエンゼルパーク駐車場において、キックオフイベントを開催しました。当日は「ふれて、つかって、実感して」と題して、愛知県警察本部鈴木地域安全対策室長、当協議会三村事務局長および名古屋駐車協会川村会長からの挨拶があり、三村事務局長から川村会長へのハンドルロックの贈呈が行われました。鈴木地域安全対策室長からは「ハンドルロックを、「ふれて、つかって、実感して」もらい、自主的に愛車を守る行動につなげてほしい。」との呼びかけがありました。

イベント終了後、同駐車場においてハンドルロック貸出取組みの周知チラシ配布や、貸出の希望があった利用者へのハンドルロック取り付け等を実施しました。利用者からは、「愛知県は自動車盗難ワースト1というのは知っていて、ハンドルロックも聞いたことがあるが使用したことはない。これを機に意識したい。」という声がありました。

自動車盗難は全国的には減少傾向であるものの、愛知県内では2021年から増加傾向にあり、2022年は884件(前年比+139件)となりました。今回のような自動車ユーザーへの直接的な啓発が愛知県内の自動車盗難の減少に寄与することが期待されます。

当協議会では引き続き自動車盗難件数減少を目的とした啓発活動を進めてまいります。



<式典の様子(鈴木地域安全対策室長の挨拶)>



<ハンドルロック贈呈>



<自動車盗難対策機器の展示1>



<自動車盗難対策機器の展示2>



<啓発活動の様子1>



<啓発活動の様子2>